



ちはやあかさか 議会だより

第 95 号

平成 23 年 2 月 1 日

発行 千早赤阪村議会

編集 議会広報編集委員会

〒585-8501

大阪府南河内郡

千早赤阪村大字水分 180 番地

TEL 0721 - 72 - 0081

FAX 0721 - 72 - 1880



11 月 6 日に開催された棚田夢灯り

— 主な内容 —

全員協議会報告	2
定例会議決結果	3
意見書・決議書、臨時会	4
いっぱん質問	5~7
議会活動日誌、雑感	8
	ページ



楠木正成の
イメージキャラ
「まさしげくん」

(千早赤阪楠公史跡保存会提供)

12 月定例会のあらまし

平成 22 年第 4 回 (12 月) 千早赤阪村議会定例会は 11 月 26 日に開会し、固定資産評価審査委員会委員の選任や工事請負契約の締結、一般職・特別職の職員の給与に関する条例改正、平成 22 年度補正予算など計 14 議案が提案され、それぞれ同意・可決しました。12 月 10 日の最終日には、国道 309 号の早期完成を求める意見書、北朝鮮による砲撃を非難する決議書を全会一致で可決し、一般質問をもって 15 日間の定例会を閉会しました。

「議会だより」は、年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月) の発行です。(臨時号を除く)

全員協議会報告

11月2日、9日、
12月3日開催

▼超過課税の適用について

「議員からプラン実施 計画の見直しを提案」

本年2月に策定された「行政経営戦略プラン実施計画」に基づく財源確保の取り組みとしての「超過課税」について、3回の全員協議会で質疑されました。超過課税とは、法人村民税と固定資産税について現在の標準税率を見直し、税収の増加を図ろうとするものです。

村の試算によると、法人税について標準税率12・3%を14・7%とし、固定資産税について1・4%を1・7%にした場合、効果額として法人税は470万円、固定資産税は約5600万円となります。

議員からは、平成21年度決算は若干改善されたこと。それを踏まえての財見通しを精査すること。今後の課題とされている上下水道等の維持、整備に要

する資金計画を明らかにすること、などの意見が出ました。村はこれらの意見を受けて、プラン実施計画を見直し、改めて超過課税の提案をすることとしました。

▼保育料改正について

保育園の保育料を来年4月から引き上げることについて説明がありました。

現在、国基準の65%の保育料を平成23年は75%に、平成24年には85%まで引き上げるという内容です。

保育料は、保護者の所得に応じて決定され、村は第1階層から第9階層まで区分されています。3歳児未満児の最高額は、月額53000円ですが、平成24年度は63000円前後になる見通しです。ただし、階層区分の国基準が改定される予定のため、引き上げ額は決定していません。第2子は半額、第3子は無料といった、多子免除は変更されません。対象者への説明会は、51人中7人が参加し、保護者からは批判的な意見が出たと報告されました。

議員からは「若者定住や人口増加に逆行する」といった、意見が出ました。

▼B&G海洋センター等改修工事について

海洋センター等改修工事の内容について説明がありました。

工事場所は、海洋センター体育館と村民運動場で、工期は平成22年12月11日から平成23年3月15日まで。工事内容は、体育館については、屋根の防水工事や外壁補修、トイレの改修など。村民運動場については、体育倉庫・トイレ、ネットフェンスの改修など。また、工事期間中、事務室は野外活動センター管理入室に設ける。

議員からは工事期間中の使用について質問があり、「使用に支障のないよう工事を進める」と回答がありました。



議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、下記の日程で開催される予定です。

第1回（3月）定例会の日程（予定）

月日	会議の内容	
3月7日 (月)	本会議 (初日)	議案上程 審議
3月24日 (木)	本会議 (最終日)	追加議案上程、審議 一般質問

※開会時間は、いずれも午前9時30分です。このほか、各委員会等も開かれます。日程は都合により変更となる場合がありますので、傍聴される方は事前に議会事務局（TEL 0721-72-0081）へお問い合わせください。



12月定例会議決結果

案 件 名	議決結果
・第78号議案 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
・第79号議案 一般職の職員の給与に関する条例等の改正について	原案可決(全員)
・第80号議案 特別職の職員の給与に関する条例等の改正について	〃
・第81号議案 職員の退職手当に関する条例の改正について	〃
・第82号議案 国民健康保険診療所条例の改正について	〃
・第83号議案 コミュニティホール設置条例の改正について	〃
・第84号議案 大阪広域水道企業団を組織する市町村数の増加及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	〃
・第85号議案 南河内地域広域行政推進協議会の廃止に関する協議について	〃
・第86号議案 平成22年度一般会計補正予算(第5回)について	〃
・第87号議案 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	〃
・第88号議案 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	〃
・第89号議案 工事請負契約の締結について(B&G海洋センター等改修工事)	〃
・第90号議案 国道309号(河南赤阪バイパス)の早期完成を求める意見書について	〃
・第91号議案 北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃を厳しく非難する決議書について	〃

主な案件の内容



○第78号議案

固定資産評価審査委員会委員の選任について

現委員の植田利和氏が任期満了により退任されることに伴い、後任として南本齋氏を選任することについて議会の同意を求めるもの。

○第79号議案

一般職の職員の給与に関する条例等の改正について

人事院勧告に基づき、官民の給与格差を解消するため、月例給与の引き下げおよび期末勤勉手当の引き下げなどの改正を行うもの。

○第80号議案

特別職の職員の給与に関する条例等の改正について

村長、副村長、教育長および議会議員の期末手当について、一般職員の支給率に準じて引き下げの改正を行うもの。

○第81号議案

職員の退職手当に関する条例の改正について

退職手当制度の適正化を図るため、退職後に懲戒免職処分を受けた場合に、退職手当を返納させることができるなど、退職手当について新たな支給制限および返納の制度を設けるもの。

○第83号議案

コミュニティホール設置条例の改正について

行政経営戦略プランに基づき、平成23年度よりコミュニティホールの使用料を現行300円から500円に改正するもの。

○第86号議案

平成22年度一般会計補正予算(第5回)について

法改正により実施する新型インフルエンザワクチン接種(新臨時接種)に係る経費や野外活動センター廃止に伴うテントサイト・バンガローの撤去工事費などの予算を追加するもの。

意見書・決議書を採択しました

□国道309号（河南赤阪バイパス）の早期完成を求める意見書

国道309号は、三重県熊野市を起点とし、奈良県を通過して水越トンネルから大阪府に入り、千早赤阪村、河南町、富田林市、堺市美原区及び松原市を経て、大阪市内の国道25号に接続する広域幹線道路である。

本村を通過する国道309号（河南赤阪バイパス）の沿道においては市街化の計画もあり、道路の直接的な効果だけでなく、地域振興や産業振興など、まちづくりそのものへの複合的な効果が期待されているところである。

しかしながら、現在「大阪府財政再建プログラム（案）」において、国道309号（河南赤阪バイパス）は「一時休止」とされている。

大阪府の厳しい財政再建への取り組みの必要性については、十分理解しているが、第2期区間はすでに用地買収も終え、地元関係者も参加しての文化財調査が進められるなど、早期の供用開始を熱望している。



以上のとおり、本議会は、国及び大阪府に対して、道路環境対策を一層充実するため国道309号（河南赤阪バイパス）の早期完成を強く要望する。



□北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃を厳しく非難する決議書

北朝鮮は11月23日、韓国の延坪（ヨンピョン）島に対して砲撃を行い、韓国軍との間で交戦状態となった。これにより、韓国軍兵士だけでなく、同島の民間人にまで死者がでて、住民1600人が緊急避難する事態となった。

民間人が居住する島への無差別の砲撃は、朝鮮戦争の休戦協定はもとより、国連憲章にも、北朝鮮自身が当事者である南北間の諸合意にも反する無法な行為である。千早赤阪村議会は、北朝鮮の軍事挑発行為を厳しく非難する。

北朝鮮は今回の行為を、韓国軍が「北朝鮮の領域」で軍事演習を行い、砲撃したことへの反撃だとしている。この海域における境界線については、韓国と北朝鮮の主張が異なっているが、それを武力攻撃の理由にすることは、断じて許されるものではない。しかも、砲撃を受けた延坪島と同島への航路が韓国側に属することは、北朝鮮自身も認めていることであり、北朝鮮の言い分は全く成り立つものではない。

千早赤阪村議会は、北朝鮮が、攻撃とそれによる被害の責任をとり、挑発的な行動をくりかえさないことを厳重に求める。

韓国をはじめ関係各国が、事件をさらなる軍事的緊張や軍事紛争につなげることなく、外交的・政治的な努力によって解決することを強く要望するものである。

平成22年第4回臨時会

（11月2日）

第4回臨時会では、

●教育委員会委員の選任について、山口光代氏が平成22年11月で任期満了となることから、引き続き同氏を任命するための議会の同意。

●特例条例の改正に伴う議員報酬の減額や特別職給与の減額、地上テレビ放送のデジタル化に伴う施設整備補助金、乳幼児へのヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンの接種費用助成に係る補正予算。が提案され、それぞれ全会一致で同意・可決しました。

総務民生常任委員会委員

1名欠員のため追加指名しました

常任委員会とは・・・

現在、行政の内容が複雑多岐になり、これを審査するには高度の専門知識が必要となっていることから、議案などを専門的・効率的に審査するために設けられたもの。

委員長 橋爪 喜久次
副委員長 関口 ぼづみ
清井 浩
浅野 利夫 (新任)
豊田 圭郎

あああああ

いっぱん質問



浅野 利夫 議員

乳幼児・高齢者の予防接種に対し、費用の助成を！

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン、乳児の水痘（水ぼうそう）ワクチン、乳幼児のおたふく風邪ワクチンは、任意予防接種であり、費用負担が大きい。接種費用の助成ができないか。

よびおたふく風邪は1歳2歳が対象で、1回の助成額はそれぞれ6300円程度と4200円程度である。本村としても保護者の負担を軽減するため、来年度から実施する方向で検討する。

答 富田林市・太子町・河南町でワクチンの公費助成をしている。実施状況は、高齢者の肺炎球菌は70歳以上が対象で、1回の助成額は3000円。水痘お



子宮頸がん予防ワクチンの全額公費助成を！

問 子宮頸がんは「予防できる唯一のがん」と言われている。年間、約3500人が亡くなっていると推計されており、死亡率も高い。女性の健康を守る意味からも、予防ワクチンは全額公費助成するべきである。

が成立し、子宮頸がん等のワクチン接種が、市町村の事業として助成されることになった。本村として、国・府の説明を受けた後、来年度より実施する予定。対象者は中学1年から高校1年生の女性が対象で1回の助成額は1万5900円程度である。

千早小吹台小学校の校舎・体育館の耐震診断は

問 赤阪小学校や村立中学校の耐震工事が完了した。昭和50年に建築された千早小吹台小学校の耐震診断の計画は。

答 千早小吹台小学校の耐震化を進めるため、早期に耐震診断と補強設計に着手したい。

12月定例会では7人の議員が一般質問を行い、6人から投稿がありました。内容（560字以内）は、質問した議員の責任で作成したものです。

貝長 徹 議員

行政経営戦略プランは見直すべきだ

問 平成21年12月に説明のあった「財政収支見通し」の数字と、今年の9月に説明のあった「財政収支見通し」の数字が違いすぎる。平成24年に基金が枯渇し、平成27年度末には「財政再生団体」に転落する見通しは変えないのか。また、24年度末には1億9500万円の赤字が累積するとしているが、あり得ない。

問 各種の利用料・使用料・増税で水道等企業会計の改修費を賄う発想はおかしい。企業会計として経営改善で費用を捻出し、その上で村全体の問題として考えるべきである。

答 平成27年度末の「早期健全化団体」への転落は回避できる。赤字も累積しない。しかし、歳出削減の取り組みは引き続き必要と思っている。

答 水道・下水について事業計画の策定を進めているが相当な費用が想定される。

問 経営戦略プランの基礎となる数字が大きく変わった以上、プランを見直すべきだ。

答 実施計画案を毎年検証し見直しを行いたい。今後の動向を踏まえ必要な措置をとりたい。

買い物難民の救済対策を

問 地域で親しまれた食料品店が突然、閉店してしまい、買い物に出掛ける手段のない高齢者が困っている。早急な対策を。

答 身近な場所で、食材の入手など買い物ができず苦労されている問題は認識している。問題解決のため、地域公共交通の検討など、本村にベストな対応をするため調査研究をしたい。



国保料の引き下げを

徳丸 幸夫 議員

問 国保会計の21年度決算では、1670万円の黒字、基金の総額も1億3000万円を超えている。高いと声の出ている国保料の1人1万円の引き下げを求

める。

答 国保料の引き下げについては、国保運営協議会に諮りながら検討したい。

学校警備員は引き続き配置を

問 学校警備員の配置に対する大阪府の補助が来年度からなくなる。村としても引き続き配置すべきではないか。村の対応を伺う。

答 平成17年から学校安全緊急対策補助事業がスタートした。

村は、下校時の2時間、学校訪問者の受付要員として、シルバークンセンターに委託してきた。23年度からこの交付金が廃止される。21年度には赤阪小学校にカメラ付きインターホンおよび電子ロックを設置した。千早小吹台小学校も今年度中に同様のものを設置する。登下校時は校

務員の自主監視を行うとともに、子ども安全見守り隊の方々に協力をお願いしたい。



子ども安全見守り隊

今後の村づくりの基本方針は

問 農林業、観光、環境、子育て、福祉など村づくりは多岐にわたるが、その基本方針を伺う。

答 現在、総合計画審議会等で第4次総合計画を策定中である。12月6日から1カ月間、パブリ

ックコメントを実施している。今後の村づくりの基本は、人口の維持、地域の活性化を最重点目標にかかげ、そのために子育て支援、教育の推進、観光振興を中心に施策展開を図る。

鳥獣被害への防止対策の強化を

橋爪 喜久次 議員

問 鳥獣（イノシシ）による農作物への被害が増大している。大切に育てた農作物が大きな被害にあっている。今後の農業

政策にも影響を及ぼしてくる。また人家の回りにも出没しており、人身への事故も懸念される。原因の一つには頭数の増加も考えられる。適当な頭数にして行くには駆除の強化も必要であり、広域的な対策も望まれる。

答 駆除・捕獲の対策には、より一層取り組む必要がある。来年度から「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」に基づき、被害防止計画を定めて対策の強化を図りたい。計画は市町村単位で定めるものだが、実施においては、近隣市町と連携して、より効果が期待できるような方法で取り組んでいく。

問 適正な頭数にしていくには捕獲期間の延長も必要である。

平成21年度に捕獲した頭数と農作物への被害状況、及び被害金額はどれくらいであったのか。

答 捕獲した頭数は、平成21年10月1日から22年3月31日まで

で53頭であった。被害状況はイノシシによるもので水稲、ミカン、野菜の被害で200a、金額で267万1000円であった。

問 それらの特産物として、ふるさとの発展につなげようとする取り組みは考えていないのか。本村では考えていないのか。

答 捕獲数の関係もあるが、安定供給ができれば村の特産品として売り出すことも考えられる。



イノシシに荒らされた果樹

少子化に対応した「地域子育て支援事業」の実施を

問 少子化が進み、子どもを取り巻く環境は大きく変化している。本村でもその課題を解消することが必要であり、そのために「地域子育て支援事業」を早急に実施できないか何う。

答 少子化の進行や、環境は厳しくなっていることは認識しており、そのために、千早赤阪村子育て支援計画を策定したところである。

この計画の中で保育園などの身近な場所において、親子の交流の場や育児相談などでの情報提供を行う事業を実施すると明記している。

このような現状から、本村として、平成23年度より、「地域子育て支援拠点事業」を実施したいと考えている。

神秘的な地域「奥河内」の観光力アップを目指して

問 河内長野市は金剛山や岩湧山など、南河内山麓一帯を新たに「奥河内」と名付け、ポスターなどで宣伝し観光振興を図り、観光客呼び込むことを狙っている。本村として今後どのように進めていく考えなのか何う。

答 河内長野市では金剛山など山麓部を新たに「奥河内」と名付け、その地域の観光力アップを目指し、広報活動や新たなイベントの実施にあたりとされている。

「奥河内」のイメージエリアには本村も含まれており、観光面での連携を進めたいとの申し出があった。「奥河内」への集客

は、本村の観光資源に一層目を向ける効果が期待できるので、今後も観光力アップに努める。



金剛山一帯（中央は千早城址）

保育料引き上げの撤回を

問 保育園の保育料引き上げで、実質負担増はどれくらいか。人口増・若者定住に逆行する。村財政は好転しているのに、所得が安定していない、子育て世帯への負担増は、若者追い出し策だ。経営戦略プランと保育料の引き上げの見直しを求める。

答 経営戦略プランの一貫と国保育料基準に近づけるため改定を願いたい。平均的に1500から3000円の値上げとなる。

要望 説明会では51人中7人しか参加せず、批判の声が続出し



保育園で遊ぶ子どもたち

公共施設の有効活用を

問 自休村センターは平成23年に撤去する計画だ。千早小学校跡は使用希望者がいるのに村の方針も出ていない。施設を有効に活用して村活性化につなげるべきだ。

答 千早小学校は運動場地下に水道施設があり、災害時の避難場所になっている。売却せず、村として有効活用していきたい。

校舎内は雨漏りや村倉庫になっている。来年、防水工事を行い防災倉庫などに活用する予定。
自休村センターは、有効利用するため、条件整備して相手方を公募する予定。
要望 千早小は維持管理費を無くすためにも、貸し出しするための整備をすべきだ。

TPPに反対を

問 TPP反対表明を求める。
答 全国町村長会で反対決議を

採択したが、動向を見守る。

議会活動日誌



11月

- 2日・臨時議会
- ・全員協議会
- ・議会改革推進委員会
- ・村表彰式
- 3日・郡町村議長会臨時総会
- 4日・府町村議長会研修会
- 5日・棚田夢灯り
- 6日・全員協議会
- 9日・農業委員会
- 10日・富田林市制施行60周年
- 16日・町村議会議長全国大会
- 17日・議会運営委員会
- 19日・月例会計監査
- 22日・国保運営協議会
- 25日・府町村議長会定例総会
- 26日・第4回定例議会(初日)

12月

- 1日・第5回総合計画審議会
- 3日・全員協議会
- ・議会改革推進委員会
- ・幹事長、代表者会議
- 8日・議会運営委員会
- ・広報編集委員会
- ・人権を考える村民の集い
- 10日・第4回定例議会(最終日)
- 13日・農業委員会
- 20日・保健事業推進協議会
- 22日・月例会計監査
- 27日・広報編集委員会
- 28日・歳末夜警

1月

- 7日・農業委員会
- 10日・成人式
- 11日・議会改革推進委員会
- 12日・広報編集委員会
- 21日・富田林商工会新年互礼会
- 22日・楠公史跡保存会理事・監事・代議員会
- 25日・市町村トップセミナー
- 26日・月例会計監査
- 31日・議員研修(鳥取県岩美町議会)

大阪府町村議長会主催 正副議長等研修会 「大阪経済の活性化策と自治体の役割について」



講師は阪神が優勝した時の経済効果などで有名な、関西大学の宮本勝浩教授でした。

年々衰退傾向にある大阪経済活性化のカギは「独創性」と「チャレンジ精神」にある。自治体は魅力あるまちづくりをして人口流入を図り、新規企業の支援に努める。など興味深い講演でした。



雑感



日本漢字能力検定協会が実施した、2010年をイメージする漢字1字は「暑」であった。

気象庁の調査によると、昨年6〜8月までの3カ月間、1898年以降の113年間のデータと比較したところ、観測史上、最も高い気温となっていたとのこと。記録的な猛暑による熱中症の被害や野菜価格の高騰、全国的にはクマの出没があり、本村でも例年になくイノシシの被害が多発した。

2位以下は中国漁船の衝突事件による「中」や高齢者の行方不明による「不」であり、暗いニュースが上位を占めていた。

明るいニュースとしては、ノーベル化学賞に2名の日本人が選ばれ、日本の化学研究の水準の高さを世界に示したこと。小惑星探査機「はやぶさ」がトランブルを乗り越え、7年に及ぶ宇宙の旅を終えて、奇跡的に地球に帰還したことが挙げられる。

新年にあたり「今年こそは」との思いを胸に秘め、厳しい財政だからこそ「夢を抱き」、チャレンジ精神をもって、何事にも前向きに取り組んで行きたい。

浅野 利夫